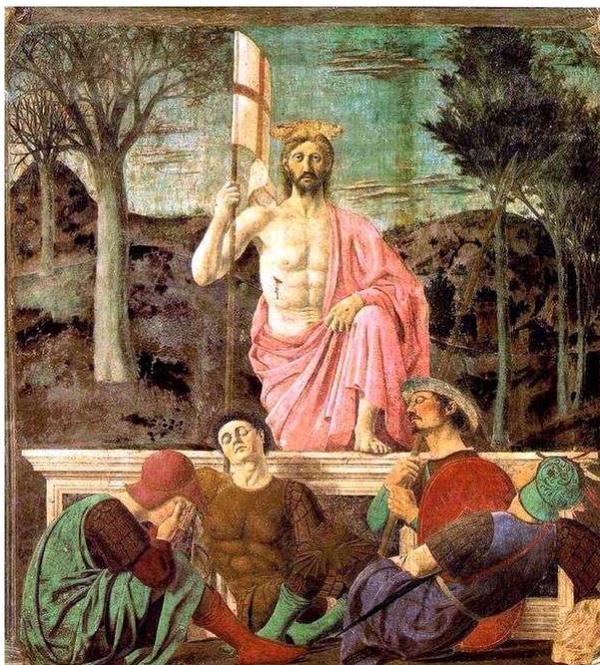


# あらゆるオペラの中の最高のオペラ

2022/02/02



「《トリスタン》はオペラの中のオペラ、あらゆるオペラの中で最高のオペラです」などと、心に思っている、決して言うてはいけません。なぜなら、こんな話があるからです。

イタリア南トスカーナの「サンセポルクロ」（「聖なる墓」の意味）は、画家のピエロ・デッラ・フランチェスカが生まれた町です。イギリス人小説家オルダス・ハックスリーが、現在美術館となっているサンセポルクロ宮殿の壁画としてピエロが描いた『キリストの復活』を「世界でもっとも素晴らしい絵」と評していました。この町の学校の先生は子供たちを連れてこの絵を見せながら、いつも、「あるイギリスの作家がこの絵を『世界でもっとも素晴らしい絵』だといっています」と説明をすると、あるとき、一人の子供が手を揚げて、「その人は、世界中の絵をみんなみたのですか？」と訊きました。桑原、桑原！

英語では、こういった子供たちの質問をかわすための言い方がたくさんあります。揚げ足をとられたのは、「世界でもっとも～」という最上級の使い方です。「エヴェレスト山は世界一高い山だ」（Mt. Everest is the world's

highest mountain.) はいいのですが、「このピエロの『キリストの復活』は私の見た限りでは最高のものだ」("The Resurrection" by Piero della Francesca, (c.1415-92) is the world's best possible.) とか、「おそらくは〜」(arguably the best) とか「疑いなく」(easily the best) と付けくわえておけばよかったです。

第二次大戦の末期、サンセポルクロはドイツ軍に占領されており、この町を奪回しようとイギリス軍が間近に迫っていました。このイギリス軍を指揮していた将校トニー・クラークは、攻撃命令を受けて、実際にサンセポルクロに向かって砲撃を開始しようとしたが、以前に読んだことのあるハックスリーの「世界最高の画」のことを思い出して砲撃を中止しました。イギリス軍がサンセポルクロに入った時には、ドイツ軍はすでに撤退していて、幸いにこの「世界最高の画」は無傷でした。この「キリストの復活」の画のおかげでサンセポルクロの街が砲火を免れたのです。戦後この史実が知られるとサンセポルクロは奇跡の街として一躍有名になり、多くの観光客が訪れるようになりました。クラークは表彰されました。

因みに、「桑原（くわばら）！ 桑原！」は雷よけのおまじないです。

都築正道